

● LESSON-9 助動詞

助動詞は中学2年生で学習する非常に重要な単元です。様々な意味と用法がありますが、基本の使い方をマスターすれば、必ず理解できますので、頑張ってついて来て下さいね！
一般動詞の文章と助動詞を使った文章を並べて分かりやすく表にしました。

	助動詞(3人称単数)	一般動詞(3人称単数)
肯定文	主語は3人称だけど助動詞の跡は動原！ Mike can <u>play</u> tennis every day. マイクはテニスをすることができます。	主語が3人称単数！ Mike <u>plays</u> tennis every day. マイクは毎日テニスをします。
	助動詞の直後に not！ Mike cannot <u>play</u> tennis every day. can を使ったら動原！ マイクはテニスをできません。	主語が3人称単数の否定文は does not！ Mike *does not <u>play</u> s tennis every day. does を使ったら動詞は原型！ *does not=doesn't マイクは毎日テニスをしません。
疑問文	主語の前！ Can Mike <u>play</u> tennis every day? マイクはテニスができますか。	主語が3人称単数の疑問文は Does～？ Does Mike <u>play</u> s tennis every day? does を使ったら動詞は原型！ マイクは毎日テニスをしますか。
	答え方 Yes, he can . / No, he can't . Can で聞かれたら can で答える！ はい、できます。 / いいえ、できません。	Yes, *he does . / No, *he doesn't . *マイクは男の単数→he (女→she もの・動物→it) はい、します。 / いいえ、しません。

■ will 「～するつもりだ」「～する予定だ」「～するだろう」(未来) (= be going to～)

助動詞 will は (be going to) と書き換えられ、未来に起こることや、予定を表すことができます。和訳は「～するつもりだ。(意志未来)」「～するだろう。～でしょう。(単純未来)」になります。

★覚えよう！未来形の文と一緒によく使われる言葉★

tomorrow 「明日」 next week 「来週」 next Sunday 「次の日曜日」

next year 「来年」 in the future 「将来」 など

◆ be going to ～は「～するつもりだ」「～する予定だ」と以前から決まっていた予定を表します。

be 動詞の文なので、基本的な用法はもうわかりますよね。

主語によって be 動詞を使い分け、疑問文は be 動詞を主語の前に出し、否定文は be 動詞の直後に not を入れます。また、to の後ろは動詞の原形になります。

▼基本用法

肯定文 : Ken **is going to** play soccer. (ケン
はサッカーをするつもりです。)

 直後!

否定文 : Ken **is not** going to play soccer. (ケン
はサッカーをするつもりではありません。)

 主語の前!

疑問文 : **Is Ken** going to play soccer? (ケン
はサッカーをするつもりですか。)

答え方 : Yes, he **is**. / No, he **isn't**. (はい、
するつもりです。/ いいえ、するつもり
ではありません。)

▼基本例文

I'm going to visit Canada next month. (私は来月カナダを訪問する予定です。)

Are you going to go to Nara tomorrow? (あなたは明日奈良に行くつもりですか。)

Ken **is not going to** make lunch. (ケンは昼食を作らないつもりだ。)

What **are you going to** do this weekend? (あなたは今週末何を
するつもりですか。)

◆will「~しようと思う、~するつもりだ」 その場で決めた意思

「~だろう、~でしょう」 未来の予測、予想

「主語+will+動原~」

助動詞の基本的用法は、全て同じです。特に難しくありませんので、「will」の用法で基本的な用法を憶えてしましましょう!

疑問文にするにはwillを**主語の前**に出し、否定文にするにはwillのうしろに**not**を入れる!

※ will notの短縮形 won't

肯定文: 主語+**will**+動詞の原形・・・

否定文: 主語+**will**+not+動詞の原形・・・

疑問文: **Will**+主語+動詞の原形・・・?

willで聞かれたら、willで答える!

▼基本用法

肯定文 : Emi **will** clean her room. (エミは部屋を掃除するだろう。)

否定文 : Emi **won't** clean her room. (エミは部屋を掃除しないでしよう。)

 主語の前!

疑問文 : **Will Emi** clean her room? (エミは部屋を掃除するでしょう
か。)

答え方 : Yes, she **will**. / No, she **won't**. (はい、
するでしょう。/ いいえ、しないでしよう。)

▼基本例文

I **will** visit the museum next week. (私は来週博物館を訪れようと思う。)
It **will** be cloudy next Sunday. (次の日曜日はくもりでしょう。)
Will Yumi go to Kyoto tomorrow? (ユミは明日京都へ行くのだろうか。)
They **won't** use computers. (彼らはコンピュータを使わないだろう。)

◆Will you ~? 「~してくれませんか」(依頼)

you が主語のときの will の疑問文は「~してくれませんか」と相手に**依頼**する意味があります。この依頼は **Please**~より丁寧な表現となります。

{ (疑) **Will you** open the window? (窓を開けてくれませんか。)
(答) Sure. / Of course. / O.K. / All right. (いいですよ。/もちろん。/わかりました。)
※断る場合は
(答) I'm sorry but I can't. (すみませんが、できません。)と言う。

〈補足〉

◆現在進行形

go, come, arrive, leave, die, do, finish, have, stay, sleep などの動詞では現在進行形で**近い未来**を表すことがある。

例

Your birthday **is coming** soon. (あなたの誕生日がもうすぐやって来ます。)

Ken **is having** lunch with us today. (ケンは今私たちと一緒に昼食をとることになっている。)

■can 「~できる(可能)」 「~してもよい(許可)」

助動詞「can」は「~することができる(可能)」の意味と「~してもよい(許可)」の2つの意味を持っています。

▼基本用法 ※「will」のときと同じです。

(肯) Ken **can** play soccer well. (ケンは上手にサッカーができる) (可能)
(肯) You **can** use this pen. (このペンを使ってもよい) (許可)
(否) Mike **can't** swim. (マイクは泳げない)
{ (疑) **Can** Emi speak English? (エミは英語が話せますか)
(答) Yes, she **can**. / No, she **can't**. (はい、できます。/いいえ、できません。)
※can の過去形は could 「~できた」
(肯) I **could** watch TV yesterday. (私は昨日テレビを見ることができた。)
(否) Ken **could not** get up early this morning. (ケンは今朝早く起きられなかった。)

※can = be able to ~ 「~できる」という意味の連語

be 動詞の文なので、主語や時制によって be 動詞を使い分けます。

否定文では、be 動詞の直後に not を、疑問文では be 動詞を主語の前に出す！

be 動詞で聞かれたら、be 動詞で答える！

▼基本例文

I can speak English. = I am able to speak English. (私は英語を話せる。)

Ken can swim. = Ken is able to swim. (ケン泳げる)

Can they cook? = Are they able to cook? (彼らは料理できますか。)

We couldn't use it. = We weren't able to use it. (私達はそれが使えなかった。)

◆Can you ~? Will you~? 「~してくれませんか (依頼)」

◆Could you ~? Would you ~? 「~していただけますか。(より丁寧な言い方)」

◆Can I ~? 「~してもいいですか」 許可を求める表現 (= May I ~?)

▼基本例文

(疑) Can you open the window? 窓を開けてくれませんか。

(疑) Could you tell me the way to the station? 駅までの道を教えていただけませんか。

(答) Sure. / Of course. / O.K. / All right. (いいですよ。/もちろん。/わかりました。)

※断る場合は

(答) I'm sorry but I can't. (すみませんが、できません。) という。

(疑) Can (May) I use this pen? (このペンを使ってもいいですか。)

(疑) Can (May) I try it on? (試着してもいいですか。)

(答) Sure. / Of course. / O.K. / All right. (いいですよ。/もちろん。/わかりました。)

※断る場合は

(答) I'm sorry but you can't. (すみませんが、できません。) という。

■ must 「~しなければならない」 (強い義務)、 「~にちがいない」 (断定)

▼基本例文

(肯) You must clean your room. (あなたは部屋を掃除しなければならない)

(肯) I must get up early. (私は早く起きなければならない。)

(疑) Must I wait for Kenta? (私は健太を待たなければなりませんか。)

※must not で、「~してはいけない。」という禁止の意味になるので注意！

(否) You mustn't play the guitar here. (ここでギターを弾いてはいけない。)(禁止)

(肯) He must be busy. (彼は忙しいにちがいない。)(断定)

■ have to ~ has to ~

「~しなければならない」という意味の連語 **must** とほぼ同じ意味です。

一般動詞の連語と同じで主語が三人称単数で現在なら **has to** となり、過去形は **had to** となります。

また疑問文は **Do(Does, Did)**を主語の前につけ、

否定文では **don't(doesn't, didn't) have to~**. 「~する必要はない。」という意味になります。

▼基本例文

(肯) I **have to** go to bed now. (私はもう寝なければなりません。)

(肯) Ken **has to** stay home. (ケンには家に居なければならない。)

Do I **have to** change trains? (電車を乗り換えなければなりませんか。)

(否) You **don't have to** hurry. (いそぐ必要はない。)

◆ must と have to ~

must と **have to** はほぼ同じ意味ですが、**must** には話し手の**命令の意味**、**have to** は**必要性の意味**が強いです。

肯定文ではあまり意識する必要はありませんが、否定文では意味の違いを明確にする必要があります。

★覚えよう!★

・ **must not (mustn't)** 「~してはいけない」(禁止)

・ **don't(doesn't) have to** 「~しなくてもよい、~する必要はない」(必要性)

▼基本例文

(否) You **mustn't** watch TV. (あなたはテレビを見てはいけない。)

(否) You **don't have to** study so hard. (あなたはそんなに熱心に勉強しなくてもいい。)

【疑問文に対する答え方】

Must で聞かれても否定のときは **don't have to** で答える。

(疑) **Must** I go to bed now? (私はもう寝なければなりませんか。)

(答) Yes, you **must**. (はい、寝なければなりません。)

No, you **don't have to**. (いいえ、寝なくてもよい。)

※**must** の過去形は無いので **had to** をつかう

I **had to** do a lot of homework yesterday. 私は昨日、たくさんの宿題をしなければならなかった。

★命令文と書き換え

命令文→ **You must**~

否定の命令文→ **You mustn't**~ に書き換えられます。

例

Wash your hands. (手を洗いなさい。)

= **You must** wash your hands.

Don't drive so fast. (そんなに速く運転してはいけません。)

= **You mustn't** drive so fast.

■ **may** 「~してもよい(許可)」, 「~かもしれない(推量)」

▼基本例文

(肯) You **may** play a computer game. (あなたはコンピュータゲームをしてもよい。)

(疑) **May I** use this pen? (答) Sure.

(このペンを使ってもいいですか。 いいですよ。)

(肯) Ken **may** have a good idea. (ケンはいい考えがあるかもしれない)

(否) She **may** not be from Osaka. (彼女は大阪出身ではないかもしれない)

※ **May I ~?** と **Can I ~?** とともに「~してもいいですか」の意味ですが、
May I ~?のほうが丁寧な表現となります。

■ **should** 「~ すべきだ(弱い義務)」

同じく義務を表す **must** や **have to** よりは弱い表現となります。

▼基本例文

(肯) You **should** help your mother. (あなたはお母さんを手伝うべきだ。)

(否) They **should** not go there. (彼らはそこへ行くべきではない。)

{ (疑) **Should** I wait for Emi? (私はエミを待つべきですか。)

{ (答) Yes, you **should**. / No, you **don't have to**.

(はい、待つべきです。/いいえ、その必要はありません。)

What **should** I do for them? (私は彼らのために何をすべきでしょうか。)

■ **shall** : 中学校の範囲では疑問文としてだけ使う

◆ **Shall I ~?** (私が)~しましょうか (自ら進んで申し出る言い方)

◆ **Shall we ~?** (私たちが)~しましょうか。(相手を誘う言い方)

▼基本例文

(疑) **Shall I** teach you English? (私が英語を教えましょうか。)

(答) Yes, please. / No, thank you. (はい、お願いします/いいえ、結構です。)

(疑) **Shall we** play tennis? ((一緒に) テニスをしましょうか。)

= **Let's** play tennis. (テニスをしましょう。)

(答) Yes, **let's**. / No, **let's not**. (はい、しましょう。/いいえ、やしましょう。)

※**Shall we ~? = Let's ~.**

■ **未来可能** 「～することができるでしょう。」

未来を表す助動詞 **will** と**可能**を表す助動詞 **can** を 1つの文で同時に使うことは出来ません。

1つの文章で使える助動詞は1つだけです。

この場合、will という助動詞は非常に強い意志を持ち、自らの形を変えようとはせずに、

可能の助動詞 can を変化させて、文章を成立させます。

つまり、

{ He **will** play the guitar well. (彼はギターを上手に弾くでしょう。)

{ He **can** play the guitar well. (彼はギターを上手に弾くことができます。)

この2つの文章を合体させて、

「**彼はギターを上手に弾くことができるでしょう。**」

という文章にしたい場合、

× He **will can** play the guitar well.

○ He **will be able to** play the guitar well.

となります。

■ **未来義務** 「～しなければならないでしょう。」

未来の意味と**義務**の意味を合わせて、1つの文章で表現しようとする時、未来可能の時と

同じように、will は形を変えずに、must が形を変えて文章を成立させます。

つまり、

{ We **will** study hard next year. (私たちは来年一生懸命勉強するでしょう。)

{ We **must** study hard. (私たちは一生懸命勉強しなければなりません。)

この2つの文章を合体させて

「**私たちは来年、一生懸命勉強しなければならないでしょう。**」

という文章にする場合、

× We **will must** study hard next year.

○ We **will have to** study hard next year.

となります。

★覚えよう！★

■助動詞の書き換えのまとめ

◆can = be able to (可能)

She **can** speak English well. = She **is able to** speak English well.

◆can = may (許可)

You **can** use my pen. = You **may** use my pen.

◆will = be going to (未来)

He **will** go to Canada next year. = He **is going to** go to Canada next year.

◆Will you ~ ? = Please 命令文

Will you open the window? = **Please** open the window.

◆would like to 動原 = want to 動原

I **would like to** see him. = I **want to** see him.

◆Shall we ~ ? = Let's ~

Shall we sing a song? = **Let's** sing a song.

◆must = have (has) to ~ (義務)

We **must** study hard. = We **have to** study hard.

◆You must = 命令文

You must do your homework. = **Do** your homework.

◆You mustn't ~ = Don't 命令文 (禁止)

You must not play baseball here. = **Don't play** baseball here.

◎ポイントの復習！

- ①肯定文は「主語+助動詞+動原～」
- ②否定文は「主語+助動詞+not+動原～」
- ③疑問文は「助動詞+主語+動原～？」
- ④助動詞を使ったら動原！主語の人称や数に関係なく！必ず動原！
- ⑤助動詞で聞かれたら、助動詞で答える！